

畜産とくづく情報

平成 19 年 6 月 26 日
(通算 第 7 8 号)
問い合わせ先
長野県庁農政部畜産課
電話 026-235-7234
chikusan@pref.nagano.jp

養豚経営者の皆様へ

配合飼料価格が高騰しています！

- ◆ 世界的にバイオ燃料の原料としての穀物の需要が増加し、飼料用トウモロコシ等の価格が高騰しています。
- ◆ 今後も配合飼料価格の高騰が続くことが予想されます。

出荷豚もう 1 頭
増産戦略

コストの低減や生産性の向上対策が必要

県やJAなどが特別巡回を実施し対策を支援します

改善のポイントを絞りましょう！

- ◆ あなたの農場の母豚 1 頭あたりの年間出荷頭数は何頭ですか？
- ◆ 状況を把握・分析するために生産記録を記帳していますか？
- ◆ どこに課題があるかチェックしてみましょう！
- ◆ 生産性を上げるには適正な飼料給与とストレスが少ない環境が必要です。
- ◆ ストレスの多い環境では・飼料のエネルギーが生産に回らず生産性が低下します。また、発育が遅れ、病気になりやすくなります。(裏面参照)

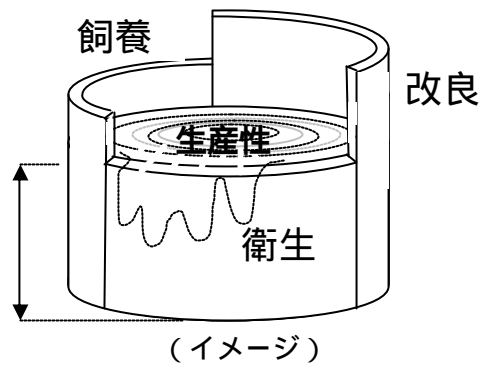
具体的な数値目標を立てましょう！

- ◆ 母豚 1 頭あたりの平均年間出荷頭数 (例)
1 8 頭 (現状) 1 9 頭 (1 年後) 2 0 頭 (2 年後)
- ◆ 分娩回転率 (例)
2 回 (現状) 2 . 1 回 (1 年後) 2 . 2 回 (2 年後)

< 生産性を支える三つの技術 >

飼養、衛生、改良の
三つの技術レベルが
全て高い時に生産性
は最高になります

高
↑
技術レベル
↓
低



< ストレスと病気の関係 >

< 主なストレス作因 >

- ・ 移動・群編成・いじめ・換気・温度・飼養密度
- ・ 飼料水不足・不衛生な環境・病原体・他

健康
飼料エネルギー
は生産のために
使われる

ストレスが小さい場合

抗病力(大)

病原体(少)

ストレス作因

ストレスが大きくなると

抗病力(小)

病原体(多)

適応エネルギー
(飼料)
ストレス状態

病原体

病気

ストレス作因

病原体

死

ストレスの少ない環境
ほど給与した飼料が有効
に使われ、病気にもか
かりにくくなります

「出荷豚もう1頭増産戦略」の流れ（例）

